

津波避難シミュレーションについて

- ・ このシミュレーションは、相模トラフ沿いの最大クラスの地震によって発生する津波（レベル2）に対する、市民や観光客の避難の状況をモデル化したものです。
- ・ シミュレーションは下表の2パターンで実施しました。

■シミュレーションの条件

パターン	現状	対策後
想定地震・津波	相模トラフ沿いの最大クラスの地震によって発生する津波（レベル2）（2000～3000年に一度の発生確率）	
地震・津波の発生時間	最も被害が大きいとされる夜間を想定	
避難対象者	避難対象者は市の夜間人口に観光客（宿泊施設の収容人数が満員の場合）を加えて設定	
避難者の移動速度	健常者 1.0m/秒 避難行動要支援者 0.5m/秒	
被災の判定	避難者が浸水想定区域外か、津波避難ビルに逃げる前に津波（浸水深30cm）に巻き込まれた時点で被災	
避難開始時間	地震発生5分後	地震発生2分後

【注意】

- ・ このシミュレーション結果は最悪の場合を示しています。シミュレーションの上では被災することになっている場合でも、できるだけ早く避難を開始することで、被災を逃れることができます。
- ・ 揺れを感じたらすぐに避難行動に移ること、避難をあきらめないことが重要です。

シミュレーション動画の見方

- ・ 右下に地震発生からの経過時間が表示されています。
- ・ 健常者が青丸(●)、要支援者が黄色丸(●)です（観光客は健常者とする）。
- ・ 避難を開始してから津波に追いつかれた（被災した）地点が被災位置(×)です。浸水区域外に避難したか避難ビルに逃げ込んだ場合は●が消えます。